

普及活動情勢報告（平成28年8月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

中央西地区成果発表会および環境制御技術講演会の開催 ～炭酸ガス施用と環境制御について学び次作に活かそう～



熱心に聞き入る生産者ら

農業振興センターは、8月4日、土佐市中央公民館において炭酸ガス施用技術に関する成果発表会および講演会を、参加者66名（うち生産者31名）で開催しました。

農業改良普及課および高知、高吾各普及所が行ったキュウリ、トマト、新ショウガ、ニラ、ピーマンにおける実証試験結果について成果発表を行い、産地・流通支援課の新田専技は県内の事例（キュウリ、ニラ、シシトウ）について報告しました。

また、全国農業協同組合連合会の吉田氏による講演会を行い、植物の栄養・生殖バランス、生育調査方法、植物を理想の状態にするための操作方法などについて幅広い視点から説明がなされ、生産者らは熱心に聞き入っていました。

農業振興センターでは、今後も実証試験の紹介や勉強会等を通して、生産者の環境制御技術に関する意識向上を目指します。

露地ショウガでの低濃度エタノール利用土壌還元処理実証 ～青枯病防除対策の確立に向けて～



低濃度アルコール希釈液処理状況

管内ではショウガの青枯病の被害が深刻になっており、生産者からは防除対策の確立を望む声が高まっています。

農業改良普及課は、JAとさしと協力し、休作中は場で夏期に低濃度アルコールを利用した土壌還元処理の実証を行うことになり、7月27日に土佐市戸波の協力農家ほ場で処理をしました。

今回の実証では、農業・食品産業技術総合研究機構及び農業技術センターと連携して処理方法を検討し、土壌微生物数や処理中の土壌電位などの処理効果の調査にも各機関の協力を得ることができました。

農業改良普及課は、この後、処理後の調査、次作での青枯病発生状況の確認を行い、技術の検討をすすめていきます。

土佐市・伊野地区の就農相談会を開催 ～関係機関が連携し就農者確保に取り組んでいます～



相談の様子

これまで農業改良普及課は、担い手確保について関係機関と協議し、県内外からの就農者確保対策を進めています。8月13日に土佐合同庁舎において、農地・担い手対策課主催で、農業会議、担い手育成センター、JA、農業改良普及課が協力し、土佐市・いの町の就農相談会を開催しました。

相談会の周知は、JAや市町の広報で行いましたが、今回初の取り組みでもあり、1組（2名）の相談となりました。

相談会終了後に、今後に向けた検討を行い、関係機関の連携をより強めていくことが確認されました。

農業改良普及課は、引き続き関係機関と、県内外の相談会等を通じて担い手確保に向けた取り組みを行います。

花卉若手生産者の勉強会 ～土壌診断について～



実習風景

8月18日、農業改良普及課において、花卉若手生産者を対象に土壌分析の勉強会を行い、生産者6人を含む10人が参加しました。

土壌勉強会は、新たな参加者1人が加わった事を契機に、年間活動計画に新たに位置付けたものです。検査についての基本的な考え方を講習後、pH、ECを中心に実習を行いました。ECが高いほ場の場合、何が原因なのかをいろいろ調べて行く過程を、生産者は熱心に実習していました。

農業改良普及課では、今後も勉強会等を通して、基本的な技術や経営について意識の向上を図って行きます。

吾北農業公社研修生に対する指導 ～露地ピーマン早期栽培技術習得支援～



現地での検討状況
(中央は、研修生)

7月から月1回、JAコスモス吾北支所と連携し、吾北地区のピーマン栽培農家の個別巡回指導を行っています。8月18日に、農業公社で今年初めてピーマンを栽培している研修生2名にも同行してもらい、栽培技術の早期習得支援に取り組みました。

研修生からは、先輩農家の支柱の立て方、ネットの誘引方法等の細かい工夫や、発生病害虫を、現地ほ場で直接見たことで、栽培・防除対策を行う上での参考になったとのことでした。

農業改良普及課では、今後とも関係機関と連携し、現地での栽培技術指導を行うと共に、公社での農業基礎講座（座学）を開催し、研修生に対する早期栽培技術の習得支援を行っていきます。